

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	1	事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	主管課	環境政策課	評価結果	不要・凍結
------	---	-----	---------------------	-----	-------	------	-------

評価の状況

評価	市民判 定人	仕分け 人(参考)	評 価 シ ー ト の 主 な コ メ ン ト
不要・凍結	11	3	<p>【市民判定人】 (事業の廃止) ・一律5万円では効果なし。普及を目指すなら宣伝にもっと予算を使う方が、まだ効果があると思われる。 ・目的が温室効果ガス削減で世界における国と国との約束でもあり、1自治体の負担すべき問題ではない。売電により利益が発生するであろう設置者に税金を使う必要はない。不公平である。設置者の自己負担とすべき。 ・現在、国の原発問題の方向性が不明の現状であり、太陽光発電システムは単なる電気商品(電子部品が中国品が多い旨、貿易収支の悪化の現状)に地方都市の税金を使うことは疑問が発生します。国と電力会社製造メーカーとの関連問題からも検討すべき。26年度以降、国の補助は白紙→廃止する旨のことでありますので、いずれにしてもエネルギー問題は現在の日本経済の死活問題であるので、国の対応を十分把握して検討をされたい。 ・導入する人は大型化をする人もいますので、それだけ資金のある人に補助を出すのは国からのものだけでも良いかと考える。 ・エネルギー政策・CO2対策は国の仕事。CO2対策は太陽光発電以外にある。 ・太陽光発電システムは必要と判断する。本補助金額が導入を推進すると思わない。国県が補助をしている(買い上げを含め)。本予算枠を使用して市の施設を太陽光発電化して市民に平等に対応する→集中と選択により効率化を図る(災害時等に使用する非常システム)。 (事業の一時凍結) ・CO2削減については多めに賛成。国レベルで考慮すべきではないか。三島市の補助金が設置の後押しになっているか?。施主は費用対効果で考えているのでは...?。資金的余裕のある人が多いと思われる。 ・設置動機になったのかどうかアンケートは有効と思える。設置費用(単価)下落→大型化→総支出かわらない→でもそれに伴い買い上げもあがっているはず。ピークカットに効果的。CO2削減等の点からみたら、設置推進は非常によくわかる。もっと別の形で報償というか...。広報で1年に1回設置してある家庭のおかげで、市全体で見てみてどの位CO2カットになったのか広報する等で感謝の意を伝えるのはいかがでしょう。 ・選択と集中の観点から見直すべきだ。一律5万円はまさにばらまきである。もう少し長期スパンで考えたら遊休地などを利用した市の太陽光発電システムを考えてもよいのではないかと。 ・補助金よりもメーカーの努力によるコストダウンの方の金額が大きいのではないかと。売電金額を加えると補助する必要性は薄い。導入としての呼び水としての役割は終了した。</p> <p>【仕分け人】 (事業の一時凍結) ・予算の枠の中で、「5万円/件の補助金を出す」ということが、目的化している。→政策・事業としての有効性やゴール設定が、極めて曖昧→電力の供給、パネル価格、CO2排出量(係数)それぞれの今後の見通しの下で、太陽光発電導入にかかる行政の役割・事業の在り方を抜本的に見直すべき。 ・ある程度、売電価格などがあり、また、設置コストも下がっているため、凍結すべきである。普及方法を民間に委ねる方策も検討すべきではないか。 ・太陽光発電システム導入の動機づけとして弱い。</p>
国・県・広域	1	0	<p>【市民判定人】 (国において実施すべき) ・国が補助をやめるのに市がやる必要があるか。</p>
市(要改善)	7	2	<p>【市民判定人】 (縮減) ・設置のほずみになればよい。 ・予算を設定するのに計画しやすいから5万円にするのは少し違うのかなと思います。また、アンケートはとても重要なのでやった方がいいと思います。 ・補助金が市民の太陽光発電のパネルを設置するきっかけになっていない。高い買い物になるので家に余裕がないと設置は難しい。 ・アンケート(購入前後→トレース含めて)で有効な事業が検討が必要と思われるが、国県の動向も予算設定時に先取りしては(情報の収集から)→しかし今後の環境も含めた全市民のかかわる事業に幅広い方策を。 (維持) ・国県関連、西伊豆町、牧之原市以外実施。国は26年以降白紙。県26年以降継続したい。市町未定もしくは継続。1kw40~50万円。4kw150万円~200万円。220件分予算の範囲だが補正対応。7割新築。売電。利益が上がりません。 ・太陽光以外の再生エネルギーについても補助を検討すべきでは?。制度としては必要。世帯所得で比率を変えてはどうか(富裕層には必要ない)。 ・国のエネルギーセキュリティー戦略に基づいて、電力の確保の方法を考えるべきと思う。太陽光エネルギーはエネルギー供給源として不安定さがあり、安定供給のために日中においても他エネルギー供給源をアイドリングしておく必要がある。住宅用太陽光発電の普及率とCO2削減効果を明確にして、三島市での普及目標を設定する必要がある。また、財源としても国家戦略でもあるため一般財源以外からの確保が適当と考える。財源内訳に県国の補助金は含まれないのか。</p> <p>【仕分け人】 (縮減) ・事業の意義は認められるが、確たる理由もなく、金額の維持にこだわるのはおかしい。アンケート等効果の測定をして発表すべき。</p>
市(現行どおり)	2	0	<p>【市民判定人】 (拡充) ・水・緑・太陽と長年環境を重んじてきた市として、発信していつてもらいたい。</p>

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	2	事業名	学校体育施設開放事業	主管課	スポーツ推進課	評価結果	市(要改善)
------	---	-----	------------	-----	---------	------	--------

評価の状況

評価	市民判定人	仕分け人(参考)	評価シートの主なコメント
不要・凍結	1	0	
国・県・広域	0	0	
市(要改善)	10	3	<p>【市民判定人】 (縮減) ・もっと市の設備を充実させてほしい。学校体育館の使用から切り替えが必要(団体競技から個人トレーニング設備へ切り替えてほしい)。管理指導員謝礼は学校の設備メンテナンスに限定して使用すべき。 ・ほぼ決まった団体のみが使用されており、公共性が低く受益者負担をお願いした方がよい。コミュニティ性もあり、現状の事業費を削減し、多少の受益者負担とすべき。 ・地域スポーツ推進のために必要。使用料を少しもらったらよいか?とも。 ・利用者が固定する方向があるのでは、スポーツ推進からも市から施設開放のアピールを…。受益者負担増の要検討(固定した団体になっていないか…!) ・報償費409万円? (維持) ・手段が目的になっているように見える。地域スポーツの推進におよび、市内社会体育施設がなぜ、どれくらい不足していて、それを補うために、何をどれだけ開放する。なぜ不足しているかの分析をしてその課題に対してどのようにすることが成果の目標になると考えよ。基本的には使ってもらいたい。開放を効率的にできれば改修費、人件費等削減の可能性ある。より公共性が高くなるシステムづくりが必要と考える。 ・認定団体の認定規則の明確化をもっとシビアにすべきだろう。有料無料も検討要あり。教頭先生への報酬支払いも検討要あり。 ・管理指導員の役割は何か、報償費は個人でない方がよいと思う。管理指導員・報償費←名称が合っていない。 ・利用者を年度頭に決めるのであればより多くの市民への利用のための案内等をしたりの必要もあると思います。</p> <p>【仕分け人】 (維持) ・受益者負担について一定の特定の団体が利用している点から検討はすべきではないか。事業のコストを明確にして市民の皆様を示していくべきと考える。 ・地域活動の活性化や体力の増進に役立つものとしていくという前提があれば、受益者負担を常に求める必要はない。→ただ、地域活動の活性化や体力の増進に具体的に貢献するような利用方法等の改善を図ることは不可欠。登録の複線化、抽選化、年一回ではなく複数回、改修等の際の地域からの抛出、利用者の登録料化、コストの見える化、市民との共有←工夫の仕方は沢山あるのでは。 ・管理の在り方はいままでどおりで良いのか(学校側の負担も含めて)。一定の受益者負担も求めたい。(維持・管理22人部分)体育施設に限らず公民館等も含めて、全体のコストを把握する必要があるのでは。</p>
市(現行どおり)	10	2	<p>【市民判定人】 (縮減) ・事業そのものは工夫してぜひ継続してほしい。ただ、事業費に関して報償費(管理指導員への謝礼)の額だけは問題がある。その上、管理指導員に教頭が含まれると聞くと一層問題と考える。多くても半分にして残りは設備拡充に回すべきである。 ・資料を読んだ時点で、管理指導員の人物像が分からなかった。今日の説明で主に教頭先生と分かったが、謝礼単価を例えば千円にすれば、年間30数万円削減になるのでは?鍵の貸し出し、翌朝の点検という内容と所要時間を考えても、そこは少し削減してもよいと思う。教頭先生は、ちゃんと確定申告していらっしゃるのでしょうか?(それとも申告不要のものでしょうか?)←大きなお世話ですが、利用度の高い学校では結構な金額になるのでは?基本公平さが保たれているなら、市民への開放へは良いと思う。</p> <p>(維持) ・現行の運用に問題はないと思います。 ・イレギュラーの使用も可となっているのであれば、現状のままでよいと思われる。(誰もが利用できる体制が整っているのであれば問題ない。) ・防犯などの管理方法の見直しも進めていけばより良くなると思う。 ・地域の健康増進のために無料開放し、そのために掃除をしてもらうという考え方は、とてもよいと思う。多くの人々が活用してもっともっと活性化できたら良いと思います。 ・昼利用18:00~21:00 2時間 管理指導員→教頭個人に支払う 営業団体は体育館利用はさせていない。 ・受益者負担について検討すべきと思うが、市としては推進すべき事業と思う。</p> <p>【仕分け人】 多くの人々が使いやすい形を考えていただきたいと思います。実費負担はあってもよいと思います。</p>

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	3	事業名	佐野美術館特別展共催事業	主管課	文化振興課	評価結果	市(要改善)
------	---	-----	--------------	-----	-------	------	--------

評価の状況

評価	市民判 定人	仕分け 人(参考)	評 価 シ ー ト の 主 な コ メ ン ト
不要・凍結	2	1	<p>【仕分け人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別展の共催だから負担金」という理由で毎年定額を拠出するというのは論理が飛躍している。→実質運営費補助金になっているのでは。無料券配布17万枚→利用1万人というのは狙いが達成されていないと判断できるのでは。施策として中途半端で実効性が見えない。→抜本的に見直すべき(拠出する根拠出し方、金額、市民に対するアプローチ、利用増の取り組み)
国・県・広域	0	0	
市(要改善)	19	4	<p>【市民判定人】 (縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料招待券やその年の入場者の数は毎年変わるので一律にしない方が良いと思う。 ・費用負担が共催になっていない。自主努力が不足しているのではないかと三島市全小学生を在学中1回無料で招待等の行事はないのか？→市の目的が市民が文化的な機会を得ることである。 ・負担金の位置づけについて検討を。市としての介入は継続の方向を望む。 ・他に美術館がない三島市にあって、佐野美術館の存在は貴重であり身近に感じる美術館でもある。市民招待券の存在も有効と思える。ただ、市民招待券の利用者数からみて負担額が多いと思う。前年の利用者数(市民招待券)×¥1000等の範囲が妥当なのではないでしょうか。お話の中でうける展示とそうでないが貴重で必要な展示があるとのことだったが、1年に1展示しかない訳ではないので、その双方で平均が取ればよいのではないのでしょうか。施設もきれいにし、利用しやすくなったので、もっと市民に足を運んでもらえる(興味を持ってもらえる)工夫、展示内容を！←「口を出せない」というお話でしたが。 ・美術館の予算には定額で入っているのではないかと。美術館の入場料が高すぎる。 ・文化芸術の鑑賞機会を市民に提供する場を守ることで、負担金を支払うことは市民としても良いことだと思います。しかし、毎年同じ金額だったりその負担金が何に使われているのかを把握していないのは残念でした。把握すれば、もっともっと良いお金の使い方ができるのかなと思いました。 ・企画についての意見を出していないようですが、一部でも税金としてから負担しているの、意見は出すべきと思う。提案は広く市民から求める方法でも良いのではと思う。 ・佐野美術館には年に何回か行くが、一般的な絵画より工芸品の類の展示が多く感ずる。少しでも市民の意見が反映されるようにしてほしい。文化の維持にお金がかかるのは理解するが、非常勤役員が11人もいる。営利団体への寄付であることを意識してほしい。現状は、任せきりではないかと感ずる。 ・13500千円の使途は明確にすべきだと思う。補助金でやるか展示ごとに負担金を拠出する方が良い。集客のできる展示会、展示意義はあるが集客が難しいものの配分も考えるべき。集客するための施策にお金を使う工夫をしていただきたい。 ・金額の意味づけが必要で事業計画と関連付けることが必要。イベントも任せずに1から2点くらいは考えるか方向性を決めた方がよい。 <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐野美術館の必要性は、大いに理解する。負担金額の根拠 不明確(特別展支援OR無料入場者数OR補助金的) ・基本的に説明はシートに沿って説明してほしい。(全体的に言えることですが) +αは添付資料で示して欲しい。1500万円根拠がほしい。やっていることはいいことと思うが、何をやるかわからないのに予算の枠があるのはおかしいと考える。負担金で1500万円何をやっているかわからないものに税金を使われるのがおかしい。 ・支出金(負担金と市では言っているが)を出す以上、佐野美術館の催物目録についても支出金相当額の協議(物を申す権利)を行ってもらいたい。美術館の経営に参加してください。建設的な意見を述べてもらいたい。これがだめなら市民の入場券として先払いとしての入場券を買えばよいか。入場者数×入場料の料金(負担金として)を支払ったらどうか。 ・美術館は必要。共催なら市からもっと口を出せ。 ・負担金の金額が一律なのはなぜ。これは自分も思っていた。負担金の根拠がわからない。これだけ負担するからこの範囲でやってねじゃあ？負担金の意味をはっきりしてもらいたい。 ・永年同一金額の予算は、予算の硬直化で行政側に企業意識欠如。手法改善するべき。永年の予算が負担金なら行政は何ら仕事をしていないように映る。 <p>【仕分け人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金で支出するのであれば、その負担割合を明確にすべきである。無料入場券の利用者数を考慮した負担を考えるべきである。 ・市のチェック機能を果たすべき(美術館と運営等について協議)(市民から選んだ人の意見の反映等) ・佐野美術館が三島にあるのはありがたいことであり、市で応援するのも当然と思います。しかし、支出の根拠をはっきりさせるべき。その結果、額が増えたとしても。 ・一律負担金ではなく、割合など出し方を変えた方がよい。来場者(来場市民)を増やすための指示を期待。より良い比較ができる方法を検討して欲しい。市外から見ると魅力的だから頑張ってもらいたい。 ・負担金、出し方を定額をやめて事業費補助に変えるべき。
市(現行どおり)	0	0	

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	4	事業名	シルバー人材センター補助事業	主管課	長寿介護課	評価結果	市(要改善)
------	---	-----	----------------	-----	-------	------	--------

評価の状況

評価	市民判定人	仕分け人(参考)	評価シートの主なコメント
不要・凍結	3	0	<p>【市民判定人】</p> <p>(事業の廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税の投入はもはや必要なし。独立採算にて運営すべき。 <p>(事業の一時凍結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力が足りないのかもしれませんが、わかりにくかった。(何に何のお金が使われているのか・・・)公益社団法人の中でなんとかならないでしょうか。一般市民がシルバーの方に何か仕事をお願いしたい場合、何が頼めて、いくらで頼めるのか(時間単位でも一仕事につきでも)→わかりやすい案内を市民もしてほしい(ちらし配布とあるが見覚えがない。思い出せなかった。) ・事業について、どこにお金が必要で、何を改善すべきかをはっきりさせるべき。
国・県・広域	0	0	
市(要改善)	18	5	<p>【市民判定人】</p> <p>(縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は増加する高齢者対策を含めた市の事業への関わりから、内容をいま以上に明確に。今までどおりの計画ではなく工夫(予算も事業開発も)を期待する。 ・事業は必要である。しかし補助の内容について不明点が多い。人材センターの固定収入になっている感がある。 ・目的を明確にして事業内容を再確認すること。 ・予算の使い道、効果を明確に説明することを願いたい。 ・シルバーの仕事は汗をかく類の仕事が多いように思われるが、机上の仕事(例、経理面の応援など)まで範囲を広げたらよいのでは。人件費高の原因の一つである非常勤役員が12人も必要なのか疑問に感ずる。シルバー層の生きがいを発掘するため、がんばってほしい。 ・シルバー人材センターの財務状況に応じて補助金の額を決めるべきで、一定額は好ましくない。 ・わかりにくい資料と説明。補助金が目的を達成するために有効的に使用されているかどうか不明・・・事業が目的の様な気がする。シルバーさんに仕事を依頼する・・・敷居が高いとの話もある。 ・シルバー人材センターは必要だと思っておりますが、市の方向性を検討。 <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中で、高齢者が活躍するために必ず必要な補助金だと思います。(子育て支援も)会員数も600人もいるのはとても良いことだと思います。これからも活躍の場を市民に広げてもらいたいです。しかしもっとわかりやすく説明してくださると納得して応援できると思います。とても良い事業をしていると私は思いました。 ・目的でやる気のある高齢者に社会貢献できる機会を提供する一目標値として定量的に。お金の使い方がわかりやすく。会員数の目標値の根拠 若い人への負担を減らす政策がいい(年金 増税) ・高齢者の雇用の安定のための補助金は必要だと思うが、中身がよくわからない。わからないので、判定しようがない。たてまえと実際がごっちゃで何を言っているかわからない。 ・高齢者に生きがいを与える事業なのである程度は必要。補助金の使用目的をはっきりしてほしい。 ・仕分け人の問いと担当課の説明がかみあっておらず、理解に苦しんだ。「事業仕分け」における説明責任が果たされていないように思われる。 ・毎年同一金額の補助であるよりは、毎年収支の結果を見ながら検討の方が良いと思う。高齢者の活躍する場として人材センターの利用を積極的に広くやっていただきたい。 <p>【仕分け人】</p> <p>(縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の根拠、管理運営費と事業費との区分とそれぞれの成果、などが、資料・説明では不明確→定義をしっかりと内容も明らかに。「シルバーだけ」に出すのは今日的にどこまで合理的なのか、についても明確にすべき。 ・何に対して補助しているのか、明確にする必要がある。説明の問題でもある。会員数増は望めるものなのか？福祉政策としてのシルバー人材はどこまでか。(随契でよいのか?) <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年事業の在り方により、事業費は変化するはずであり、補助金額が一定である必要性はない。また、剰余金が発生した場合は、割合によって実績報告に反映すべきである。 ・事業目的を明確にすること。 ・事業自体は、重要と考えます。しかし、補助の根拠や計算の内容をはっきりさせるべきだと思います。
市(現行どおり)	0	0	

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	5	事業名	商店街イベント振興事業費補助事業	主管課	商工観光課	評価結果	市(要改善)
------	---	-----	------------------	-----	-------	------	--------

評価の状況

評価	市民判定人	仕分け人(参考)	評価シートの主なコメント
不要・凍結	1	0	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の効果に疑問あり。商店街が活性化されているとは思えない。
国・県・広域	0	0	
市(要改善)	14	4	<p>【市民判定人】</p> <p>(縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の補助をするのに現在の方式がよいか否か、見直した方が良い。難しいと思うが。 ・なかなかよいイベントが行われている。知らなかったイベントもある。 ・広報活動をより充実させ、人を集めると良いと思う。三島の良さを伝える良い機会だと思うので活発化することを望む。 <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催のアピールとその集客性のデータ収集。近接商店会との調整等に市と商工会議所が役割分担を明確にして有効な補助を。 ・効果が明確になっていない(売上)。イベントの対象は市内？県内？全国？どの範囲？ネットの利用はどうする？魅力ある商品はあるのか？売れる商品、サービスがあつてのイベントである。 ・イベント時だけでなく、平時にも集客が図れるような形につながるような取り組みも必要です。目的はあくまでも商店街(を構成する個店)地力の向上。補助金ありきでのイベント開催ではない。目に見える実績の指針は必要。効果を定量的に把握することが必要。 ・活気ある三島になるように。 ・補助金がうまく目的(営業利益等)に反映されているのか指針が必要と考える。例えばアンケートの実施等。税金納入から営業利益が上がったか判断できないか。 ・私はJR駅北側に住んでいるので、小さい商店会のイベントは全く知りません。チラシが入らなければいけません。イベント開催をするのが難しい商店会には条件付き(例えば回数など)で補助金増額にするとか。広報を可能な限り利用してはいいかがでしょうか。 ・認知度の低いお祭りにPR活動を少しでも多く行って人を集めてほしいです。そして、内容のメリハリは必要だと思いました。小さな商店街も活発になっていく手助けも頑張ってください。 <p>[仕分け人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始から10年以上経って、補助の仕組みとしては曲がり角→(実績ある体力のある商店街の自立・自活化。新たな取り組みを始める、定着させようとするところへの支援)→(メリハリのある事業とすることが大事。⇨成果の把握が大事=収益・通期の集客に対する効果)→「補助ありきではなく、意欲と創意工夫のあるところを応援=自立を図るところをバックアップ。」 ・事業は必要なものだと思いますのでその時その時の状況に合わせて内容を(出し方、金額など)見直しながらかつていただきたいと思います。 <p>(縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永続的な売り上げ向上への施策への誘導(顧客として年齢層をどう設定するのか。イベント来客は子供が多いような印象がある。高年齢層はどう取り入れるのか。) <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助制度の在り方について5年ごとに内容を精査して時代に即した制度設計をすべきである。金額ではなく、実績報告で成果の内容を把握すべきである。
市(現行どおり)	6	1	<p>【市民判定人】</p> <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントで売り上げが増えているのは意義がある。予算の中でやりくりが必要。活性化は必要。やる気のあるところ、頑張っているのが分かるところは上限以上に補助は必要ではないか。メリハリは必要だと思う。自分もそう思う。 ・資料をもらってイベント事業名の中で知っている又は知らないを、色分けしてみたところ知っているが9、知らないは10でした。(そのうち言ったことがあるイベントは2です。)もし、今後予算の範囲がぎりぎりになるようなら商店会ごと補助回数の上限を設けた方が良く思う。(補助金を利用している商店会に偏りがあるように見える。)イベントの種類によっては一日のイベントより別のアプローチの方が売り上げアップにつながるのでは？例えば甘藷スイーツはその場で全種試食できてしまうより(消費者としては本当は有難いが)三島コロッケでやったスタンプラリーのように各お店に足を運ぶ機会を作るとか。 ・リタイア組の老夫婦が市内に回帰しているように思われる。人口統計も参考に効果的に進めてください。年間小売上の推移は数字で見えたかった。イベントを目的化しない。 ・町の活性化につながるので継続すべきであり、予算投入は現状程度で良い。シャッター通りがいつまでも続いては困る。予算の流動性も考えるべき。なお、実績報告はオープンにすべき。 <p>(拡充)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなご苦労をしているとは知らなかった。「事業シート」も(平成・昭和の間違いもあるが)本日の分では一番迫力がある。ただし、産業振興部単独での推進では限界もあるだろうから観光客の集客部門などとの連携も必要と思われる。 <p>[仕分け人]</p> <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状どおりで良いが、本来適用を時代に合わせていった方が良い。下駄をはかせてはダメ。実績報告が大事。知らせる努力も欲しい。

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	6	事業名	収税特別対策事業	主管課	収税課	評価結果	市(要改善)
評価の状況							
評価	市民判 定人	仕分け 人(参考)	評価シートの主なコメント				
不要・凍結	3	0	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明内容は全く不明。事業効果が定量化されていないので事業の意義が不明。仕分けが目的に合致していない。資料が事業目的・目標・経緯を明らかにしていない。 ・税投入が臨雇・嘱託の人件費投入であるが、臨雇・嘱託投入による成果、実績の説明がない。 ・組織が変わって「新人」が入ってきたというのを言い訳にははいけなと思います。理解しやすい言葉で説明してください。専門用語でごまかしている印象を受けます。正職にキャリアが必要ならば、市としてそうすべきではないでしょうか。費用対効果が明確にされていません。 				
国・県・広域	0	0					
市(要改善)	13	5	<p>【市民判定人】</p> <p>(縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明が全く理解できない。財政部全体で説明がないと効果が分からない。 ・課長の説明が分かりづらい。事業の効果がよくわからない。 ・市の提出資料不足(さらなる資料を提出しないと滞納状況分からず)。滞納税の徴収金額等の実績等分からず。債権消滅(5年)時効中断状況等全部分からず。このことは最重要か。回収不能金額はどのくらいか。金額の公表を希望します。臨時職員9人、嘱託職員4人の回収能力はかなりのノウハウが必要でないと職責の遂行ができないと思うが、どういう人物を採用したのか。単に人数を増やせばよいということではないか?スペシャリストを少人数の採用も考えてください。総数27人ということですので。 <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事に対する総括ができていない。目先の案件に対し、裏付けデータがなしで仕事をしている。前年度の結果が新年度に反映されていない。資料の年度並びを統一すること。H24→H22とH22→H24の並びが混在。 ・正直に納税しているものが馬鹿を見ないようにしっかり収税してもらいたい。特別な部署であるからスペシャリストを配置しておくべき。 ・大変な業務であることは理解します。事業の効果測定?見えて来ない。(良くなっているように思うが)この特別対策はいずれなくなるのか?終了判断は何で測定? ・(議論前)目的の収納率向上と滞納金額の抑制というのは当然で滞納する原因が何かを明確にしてそこで改善するためにどのようにするかが目的になると考える(滞納させない仕組みづくりが大切)。成果の目標やそれを定量化したもの。他の市の活動と比較必要。目標値も適正処理ではなく、具体的に。ただ漫然と税金の滞納を待っているように見える。(議論中)書いてないことをしゃべるのはあまりよくない。分かりにくい。言っている場所が資料のどこかわからない。仕事内容全体、それに対する課題、原因対策を一目でわかるようにした方が良いと考える。やはりスペシャリストが必要と考える。(議論後)滞納者に対してしっかり電話および催告をしている。スペシャリストには改善が必要。 ・専門性が高く、理解できないシートであるが、市としては必須な事業と判断する。成果は上がっていると思う。嘱託職員等に外部からの経験者(採用基準を設定しては?)の採用を一特に専門職が必要な部門と感ずることから。 ・この課題は私には難しくわかりません。ただ、事業シート資料からうかがえることは、マンパワーを増やせば収税率が上がる印象を受けます。もしも、それが真実なら(成果)、(効果/費用あるなら)増やすべきだと思いますが、他に作戦はありませんか。まだ、あるように思うのですが。 ・大変な業務なのだと思う。でも、公平さを保つためにもぜひ滞納は減らしていただきたい。話の中で出てきた職員の在職期間が他の課でも感じることもある。長すぎるのが良くないとは分かるのですが、ころころ変わるのも…。電話、文書での催促等もっと多くても良いように感じる。(この事業として分) ・説明が分かりにくかった。収税効果が上がるために、職員の中に常に詳しい人を配置できれば(配置換えをあまりせずに)臨時職員、嘱託職員を効率よく動かせると思う。 ・収税特別対策事業の費用対効果がどれほどなのか、必要なデータが足りなくて判断が難しい。もっと資料や説明を明確にしてほしい。もっと効果の出る方法、採用をもう一度検討すべき。 <p>〔仕分け人〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員を利用して直営で実施する方式よりも民間の事業者を活用して効率的、効果的な事務の在り方を検討されたい。成果としては徴収率としてでなく、この事業で実施した催告などがどのように収納に繋がったかを把握されたい。 ・予算を充てる人件費について専門家、スキルのある人に充てたらどうか。外部委託を考慮したらどうか。 ・職員のスキル(収税)アップ+効率的な臨時職員数の検討を。電話、文書催告による納税者の推移、納税率の調査が不可欠。 <p>(縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正職員で対応すべきものを臨時職員にしている。民間委託も含めて検討する必要がある。 <p>(維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話、文書催告が過年度分にほぼ集中しているところを変えるべき。→現年を積み残してはいたちごっこ。→処理能力を高め、より事務の質、量を増強すべき。(民間の専門機関、専門人材の活用。庁内人事、臨職の採用、能力開発の見直し) 				

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

市(現行どおり)	4	0	<p>【市民判定人】 (維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シートに沿った説明が少なく、良く説明が分からなかった。やっぱり説明が分からない。職種がら職員は長期でいた方が良いと思う。数年で移動してしまうのはスキルが落ちる。 ・事業内容は必要なことだと思います。平成21年度以降、推移が伸びているのはすごく良い成果だと思います。対象人数や催告件数が少しわかりにくかったです。表が知識がないと少し難しいなと感じました。 ・能率的税収確保のためには徹底的滞納処分が必要。効率的分納管理を行うためのシステム、プログラムの開発を進めてほしい。専門用語が多かったため、理解が難しかった。滞納整理はなぜ必要か。この事業が滞納整理の中でどのような位置を占めているのかわからなかった。滞納整理回収事業との区分けが分からなかった。 <p>(拡充)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員にスキルのある人(収税OB等)を採用して、滞納者との対応ができるようにしたらよいと思う。
----------	---	---	---

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	7	事業名	有線テレビ広報事業	主管課	広報広聴課	評価結果	市(要改善)
------	---	-----	-----------	-----	-------	------	--------

評価の状況

評価	市民判 定人	仕分け 人(参考)	評 価 シ ー ト の 主 な コ メ ン ト
不要・凍結	5	2	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地デジ開始後、CATVに優位性がなくなりつつあり、加入率は減少方向では…？／別のメディアの検討を。目的がはっきりしない。…やるのが目的？民放でも三島がテーマの番組も多いと思います。 ・東海ケーブルのCATV12チャンネルでの放送は必要と思わない。市民の行事イベントを記録として残すのは続けて欲しい。 ・TOKAIに加入しているが、この番組を見ません。視聴率は調べるべきです。 ・対象100%と言いながら、ケーブルテレビが視聴できる世帯は半数。以前のように専用チャンネルでいつでも情報にたどり着けるならば意義があるかもしれないが、放送時間が限定的すぎる。(現在)→映像記録・市公式HPへの動画掲載等を主にする事業に変えた方が有効では？ひどい災害が起きた時、TV・インターネットが見られるとは限らない。(ボイスキュー等の方が可能性が高い！?) ・CATVでの発信の必要性は、YouTubeかUSTの台頭によって薄まっていると思います。CATV視聴者は、市民のごく一部ではないでしょうか。CATV環境のある家庭より、インターネット環境が整っている環境の方が圧倒的に多いと思われます。YouTubeやFacebookなどでの情報発信の方が、双方向のコミュニケーションも図れると思われます。 <p>【仕分け人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tokaiケーブルネットワークの1者随契の理由が極めて不透明→説明のとおりならば1者に限る必要はないので見直し。放送枠の確保のためにということがあんなら、ニュースみしまの無料枠の中での番組構成に再編成すべき。政策委託ではなく、専門スタッフを臨時職員などを雇用することによって内製化し、市と市民とのコミュニケーションツール、プロモーションツール開拓と充実を図るべき。 ・CATV発足当時と現在のICT環境の状況を踏まえると大きな変化があり、引き続きCATVを使用した情報提供が必要か。ゼロベースで点検されたい。そのうえで番組制作委託の在り方について検討されたい。
国・県・広域	0	0	
市(要改善)	14	3	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委託先(有)ランワールドとはどういう会社？(縮減) ・ケーブルテレビの視聴率が不明とのことだが、見られない部分は、市の施設内で見られるようにすれば少し待ち合わせなどの時に見られるので、廃止してもいいと思う。その代り、インターネットを活用することを考えて欲しい。 ・CATVとYouTubeは、見る年齢層が違うと思います。YouTubeのアクセス数を上げることに走ると、本来の目的から離れていくと思います。しかし、テレビを見ている人の数を考えると、テレビ放送をするだけの費用効果はないと考えます。(0.5%の視聴率は500人くらいです。テレビ放送にかかる契約をなくして、YouTube1本にした方が、効果は上がると思います。公共の場でもパソコンとテレビを繋げば、流すことはできます。 ・目的と反響のギャップを明らかにして、改善すればもっと多くの人に見てもらえると思います。(1社でも十分かなと思います。)契約費や、その内容をもう少し工夫し、私はYoutubeで流していることを知らなかったので、PR活動も必要だとおもいます。 ・市民に広く情報を提供して欲しい。たいへんかもしれないが、自主制作番組もお願いしたい。 ・少なくとも2社に委託している業務を1社にまとめて発注すれば、コストも下がるはず。業務もぶん投げの感はある。確かに見ている人はかなりいるので同様に続けるなら、もっと市の関与を増やした方がいい。 ・効果的な広報、広聴活動は必要である。映像コンテンツの作成は「三島市」を情報発信するために、今後も継続して欲しい。インターネットを利用すれば全国・世界に情報発信できる。ただし、有線テレビでの広報が必要かは疑問がある。(有線テレビの視聴者がどのくらいいるのか?)有線テレビの利用者より、インターネット利用者の方が多いと思われる。インターネットならいつでも見られる。 ・災害時(予報を含む)の情報発信等も重要と考え各々の発信手段の加入率のアップに取り組んでは、、、市民への放送を実施していることのアピールを、、、(維持) ・CATV加入者以外の方への映像提供を考えて、Youtubeを見ない方は多い。 ・三島全体のアピールを含めて対応しているのは良い。番組枠の購入と政策を分離して政策内容・費用を競合させる。もう少し、ケーブルテレビの番組があることをアピールしてほしい。利用実態を把握するべき。→次のステップへ。 ・見てもらえる内容を考えているのは良いと思う。放送時間の告知を見たことがない。自分は見たことがない。「三島広報室」は放映時間中仕事中。「ニュースみしま」は休日ですがほかのニュースを見てしまう。 ・議論前 市民の求めている番組になっているとなっているのか。課題は何かここが明確でないし進歩がないと考える。市はテレビを使って何をさせたいのかが見えない。なぜ25年度予算上がっているのか。議論中 YouTubeからニーズを取るの良かったと思った。ほかの方法はないか？議論後 一方的な情報発信ではなく、双方向の番組作りをすることで、市民と市で作り上げた番組としてほしい。 ・職員の創意工夫を取り入れた内容を常に議論しつつ、前進を期待しています。 <p>【仕分け人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民へのアンケート調査等によって、満足度を確認する必要がある。→視聴率についても把握できる。政策について、市民がもっと関与する必要がある。 (縮減) ・制作と放映権とを明確にするべき。制作費については、見直す必要がある。目的達成度を測る材料不足である。二つの放送を1つに統合しても良いのでは。
市(現行どおり)	1	0	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> (拡充) ・放映時間の周知が必要。災害情報を含めて市の活動を積極的に市民に知らしめるべき。

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	8	事業名	遊休地対策事業	主管課	水と緑の課	評価結果	市(要改善)
評価の状況							
評価	市民判定人	仕分け人(参考)	評価シートの主なコメント				
不要・凍結	1	0	<p>【市民判定人】 ・道路管理者の責任で行う事業、ボランティア(市民)のためにの事業でない。公共用地でない花いっぱい活動の支援すべき。</p>				
国・県・広域	0	0					
市(要改善)	16	5	<p>【市民判定人】 (縮減) ・事業見直しを明確にする必要があるが、明確にする努力がされていない。とりあえず、現状維持か？ ・市役所の各部門の役割分担を明確答弁しては…。(説明者側から)仕分け人は説明者の説明を理解して進めることも…。 ・花街道は、景観の保全ではなく、最低限の保全で良い(車の通行がほとんど)緑と花いっぱい運動の趣旨に合う遊休地のみ対象とし、その他は最低限の保全または事業返納する。 ・市道・国道・県道の道路管理者が管理すべきで市が何故国道遊休地まで費用を出すのか。道路管理者と市との関係をよく整理して対応してください。国・県・市との役所の上下関係ではなく、法的論理をもって国・県と対応されたい。この問題は、三島市の都市整備部でやるのはどうか。疑問あり。種々考慮して現状の日本国では、無理かもしれないが、努力をすることに意義ありと思うかあきらめか。 ・誰も環境をきれいにしたいとの要望はあるはずで、そのような要求にほだされているクライがなきにしもあらずの感がある。ただ、国・県に任せて済む話ではないと思われるので、できるだけ市民(住民)に任せる方向にもっていったほうが良いのではないかと。また、外部委託もシルバーセンター利用で良いのではないかと。 ・関連事業と統合しても良いのでは？(事業内容は同じであると思われる。)-委託料等コスト面。花の会やシルバー人材センターの活動部門を増やす。 ・各花壇をなぜ市の事業として管理しているかの理由がわかった。花がたくさん街づくりは、良いことと思うが、お金(税金)にも限りがあるので、そのバランスが難しいのだと思う。B・C・Dの花壇について、市内の植木屋さんと石屋さん、花屋さん等の広告展示エリアとして貸し出す(無償・手入れは植木屋さん・花屋さん等の責任)なんて夢物語でしょうか？→管理責任は”市”でとのお話でしたから難しいのでしょうか…。 (維持) ・暫定事業であるはずだが、期限が決められていない。緑と花いっぱい運動と一元化できるのではないかと！→この事業予算を緑と花いっぱいに移すことはできないか？(トータルでは、コスト下がるはず) ・議論前 目的において、やることの意味づけをしっかりとしてほしい。きれいになったらいいのは当たり前。それでどのように三島市に役立っていくのかを明確にしてほしい。住みたい街づくり、人口増加などが→それを成果目標に結びつけてください。そのようになると課題も見えてくる。議論中国県道は、市は市民の意見を組み上げて国県に意見を言ってほしい。予算を国県からとってほしい。国県道はしっかりと見直し計画を立てられる部署が見るべき。議論後 緑と花活動を一元管理が効率的ではないか。 ・花の事業は、関連事業のガーデンシティ・緑と花他が行っている？遊休地対策には、維持管理費のかからない事業にしてはどうか。緑化事業の統一。花街道は、コストがかりすぎる。見直しが必要。 ・町に花が溢れているのは、とても良いものです。管理先をはっきりさせた方がよい。 ・県道国道用地の緑化は各管理者に求めるのは、最もだと思う。管理委託をされているのであれば良いのか？一元化は必要だと思う。 ・業務委託シルバー人材を使えないのか。 【仕分け人】 ・ガーデンシティとしては、必要な事業。他事業との住み分けの検討。併せてコストダウンに向けて、委託・共存方法の見直しも必要。 ・委託ロット、内部管理の一元化などによりコストダウンを検討していただきたい。 ・道路整備までの暫定利用であるならば、道路管理の所管部署が道路計画の見直しの中で平時化を図るべき。国・県道についても市の道路管理部署が窓口となって平時の見直しをもって取り組むべきでは。 (縮減) ・各道路管理者が管理すべきであるが、市の財政で行わなければならないのであれば、管理費が少ない樹木等に植え替えることによってコスト削減を目指すべきでは。 (維持) ・名目は遊休地対策だが、実質は(半恒久的な)公共花壇整備と(道路管理のための)樹木整備と除草。大事なのは、「実質」を捉えること。緑と花いっぱいと事実上の統合を。街路の維持管理と共通化を。</p>				
市(現行どおり)	3	0	<p>【市民判定人】 (縮減) ・活動の参加数が増えてきているのは、いいことだと思うので続けてほしい。土地の使用について、(B~D)国県はこの先どう利用する予定なのか。未定の間ずっと市の負担は大きいと思うが、出してもらえないでしょう。 (維持) ・委託先を競走入札にするのは、継続し少しでもコストを下げる努力をしつつ、現行どおりの内容で良いと思う。費用を極力かけずに市民に参加を促す広報をしていく必要があると感じる。地元の小中学生にも参加を呼びかけ、地域に愛着をもってもらったり、ゴミ捨て問題にも効果が上がるのでは。 ・花の植え込みや、手入れをシルバー人材を利用して共同で行っていることは、良いことだと思います。私は梅名に住んでいます。道路の拡大で、まだ利用されていない土地がいつの間にか花壇になっていて、すごく景観が良くなって、地元住民はとても満足しています。私はこれを誰がやっていたのかを、今日初めて知ったのでアピールしても良いのかなと思いました。</p>				

事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	9	事業名	中郷文化プラザ管理事業 北上文化プラザ管理事業	主管課	生涯学習課	評価結果	市(要改善)
------	---	-----	----------------------------	-----	-------	------	--------

評価の状況

評価	市民判定人	仕分け人(参考)	評価シートの主なコメント
不要・凍結	1	1	<p>・年間を通して利用率が20%台～30%台(各部屋)ということは70%～80%は部屋が遊んでいることになる。そのような非効率の公民館に果たして年間6,000万円(両公民館含めて)もの税を投入すべきものなのかどうか実態を知ってただただ驚いている。税投入に見合う経営努力をすべきである。</p> <p>[仕分け人]</p> <p>・「公民館」という枠組みに囚われず、誰もが使える「公共施設」として有効活用できる方法を検討すべき。管理運営に当たっては民間の活力を含めて抜本的に見直しされたい。社会教育の時代から生涯学習の時代に合わせて再検討されたい。借地料の見直しは最重要課題です。</p>
国・県・広域	0	0	
市(要改善)	18	4	<p>【市民判定人】 (縮減)</p> <p>・北上の図書館機能の増強を考えてほしい(会議室の転用)。市の総合事業として再編・統合を考えるべき。</p> <p>・借地料多い、ピークを見た駐車場だと考える。半分で良いのではないか。</p> <p>・市所有の建物が私有地では計画時期の問題もあると思うが、今後の課題として十分な検討を(市役所全体の問題として)。各地区の公民館の有効利用で廃止ということは→市民サービスは別途として。</p> <p>・中郷文化プラザ、北上文化プラザの借地料が高すぎる。契約改定の際、借地料を下げる努力必要。(市況の相場に近づけてください。小面積ではないので、坪当たり高い。)契約期間終了時(法的な買取請求権も含めて)に解約して他所に新たな土地を買うとか、借用すると長期問題として考慮されたい。必要面積も含めて。また、当該地の買取も含めて考慮されたい。</p> <p>・近隣小中学校敷地・教室の活用、または学校敷地へ移転の検討(→将来的にはプラザ建物の廃止を視野に)両地区への過剰サービスではないか?本事業維持のための新事業検討では困る。借地料の再検討。地区内防災センター等の活用。自治会の活用。</p> <p>・中郷文化プラザの借地料の異常な高さに驚きを隠せない。この価格を市民が知ったら大変なことになると思う。利用価値があれば自然に稼働率も上がるはずなのに、上がらないのは計画段階に甘さがあったと思われる。</p> <p>・借地料が高すぎ。</p> <p>・借地料が高いのでびっくり。いつまでも借地していないで買い取った方が良い。</p> <p>(維持)</p> <p>・お話を聞いていて、借地料はぜひ下げる交渉をしていただきたいと思った。隣の函南町の中央公民館の方が稼働率も高く、活気があるように見える(施設は新しくないが)。それがなぜかと考えると立地かな?と。いくつかの村が合併した現三島市としては各所でこのような施設を必要とされたのかな?と想像する。ただ、それならば維持管理にお金がかからない方向性?いやいや、やっぱり稼働率アップを!</p> <p>・公民館主催の教室の後、その参加者が集まりサークルを作る動きはないでしょうか。せっかくその公民館で集まったのに利用しないのはもったいないです。改築は考えられませんか?研修室をまとめて大きいホールにするなどです。近隣の集会所を使用している団体になぜ公民館を使用しないか聞いてみたことがあるのでしょうか。</p> <p>・北上プラザをよく利用するが、図書館分館を作ってくれたり児童センターができたらかっと利用者が増えると思います。借地料をもっと別のものに利用できたら使う側も便利になると思います。</p> <p>・必要な施設であると思います。市民の声によって作られた割には利用者が少ない?作るときに市民の(ニーズ)を設計に反映していたのか?利用者数向上に注力する必要があると思います。北上プラザは元病院だから仕方がないという発言は無責任です。今ある施設をどう活用するかを考えていただきたいです。</p> <p>・公民館でなくして使用法を広げた方が好ましい。</p> <p>・借地料が大きいのは自分も気になっていたとか驚いた。どちらのプラザも仕事で行ったことがあります。結構贅沢だと思っていました。市民サービスコーナーは必要だと思いますが、市の公民館は経費が掛かると知らなかった。市内に4か所もこういった施設があると知らなかった。地区の公民館しか利用したことがない。</p> <p>・(議論前)市民のニーズはどこにあるのか調査必要。市としてどのような施設にしたいのか明確にしてほしい。現在とそこの乖離部分や問題点を目的となると考える。plan、do、check、actionのPがうまくできていないようにみえる。利用者数の目標値の設定は妥当か?(議論中)土地借地料が高いことから、購入も含めて考えた方がよいのでは。必要な面積はどのくらいか、精査必要。(議論後)稼働率が低下理由を明確にしてDoを行ってほしい。</p> <p>・私は中郷地区に住んでいるのですが公民館が広いのはいいと思います。広場は小学生が良く使っているし、イベントなどでも多くの人が使っているのをよく見ているのを見ました。しかし、中学生・高校生・大学生が勉強スペースとして利用できないのがとても残念です。隣の函南町は勉強できるスペースがあるので、私はよく、そちらを利用していました。なので、勉強できるスペースを作ってもらえれば中学生以上も利用でき利用者数が増えると思います。</p> <p>[仕分け人]</p> <p>・借地料を占めるウェイトが大きすぎる。購入した場合のメリット・デメリットを検討する。ファンリティ・マネジメントの視点から、公共施設全体の在り方を見直す必要あり。</p> <p>・コスト中、借地料の割合が高いので、市民効果という視点では考えていく必要がある。北上は図書関係(室、読み聞かせ、ブックスタートなど)NPOセンター分室などで稼働率アップをお願いする。</p> <p>(縮減)</p> <p>・そもそも利用の実態に見合わないオーバースペックな施設→もったいない→有効活用を抜本的に考え直すべき。(北上への図書館分室の設置。会議室・研修室等をNPOや市民団体のオフィス・連携ルームに。多目的ホールの改築(拡大)。市事業(地域住民との交流・懇談)に活用。借地料→引き下げの努力を。</p> <p>(維持)</p> <p>・借地料を下げる必要性を感じる。利用者の増加を目指すべきである。個人利用の自習室として開放しては良いのでは。</p>
市(現行どおり)	1	0	

三島市事業仕分け 事業別評価結果及び主なコメント

事業番号	10	事業名	市立保育園管理運営事業	主管課	子育て支援課	評価結果	市(要改善)	
評価の状況								
評価	市民判定人	任分け人(参考)	評価シートの主なコメント					
不要・凍結	0	0						
国・県・広域	0	0						
市(要改善)	16	5	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保一体化が進む中、もっともっと前進的な議論を毎日のごとく開催すべきである。子は宝。怠けていないでほしい。 ・これからさらに働く母親が増える時代が三島にも来るはず。幼稚園の延長保育や、公立保育園のサービス向上のために予算を使ったり、さらに市民のサポートをしてほしい。幸原保育園が恵明キッズになり、民営化したのは、市民・母親として成功だったと思います。民営化も視野に入れ、保育園を利用する親のサポートをしてくれるよう検討して欲しい。 ・公民の優劣がほぼない状態ですが、親御さんの立場だと公立の方が信頼性は高いと思われま す。 ・国の施策を見ていると、母親の就業を推進している気がします。実際問題として共働きしなければ子供を育てられない状態の中、保育所の需要は高まると思われま。必要なものであるが故、常に改善が必要と思われま。 ・保育園の先行の見直しを早くしてほしい。 ・保育園の有用性の位置付けをしっかりと確立してほしい。 ・民間保育園に比べ、市立保育園の存在意義(優位性)の理由説明が希薄であった。将来は徐々に民間の数を増やさざるを得ないと思う。 ・待機児ゼロは評価したいです。 ・子供の成長は待ってくれないので、療育に力を入れるのなら、早ければ早いほどいいと思いま す。 ・運営財源内訳(p99)の中で、市の税金が占める部分の話が、表を見ただけでは全く理解できなく、驚きました。 ・100%とは言いませんが、私立への移行は必要と思える。保育園が私立になったとしても、市の中に社会福祉部(子育て支援課)の部署は存続するでしょうから、アドバイス、研修等いくらでもできるのでは？ ・民間保育園に税金が公立より多く入っていたのは知らなかった。公立は安く、民間は高いというイメージでした。 ・民間をそうとう下に見ている、公立が一番と言っているようだった。 ・公立・市立の保育園のサービス条件は同じにすべき。公立は市民ニーズに敏感に対応すべき。公立ありきでは困る ・事業シートの資料不足。公立と私立のどちらへ入園したら当該者にとってベターなのか判断すべき現時点での資料がほしい。 ・今後、女性が働く場が増えて来る中で、保育園に通う子供が増えて来ると思います。安心して仕事と子育てができるように、十分確保できるようにしてほしいです。また、保育に関して積極的に行政に参加してもらえるチャンスだと思うので、このチャンスを利用して、市民の声をもっと聞いて改善していけば、暮らしやすい三島になるのではないかと思います。 ・障害児に対して初期教育を行う必要性を課題として活動していくのは、障害を持つ家庭の人はずごくありがたいと思います。そして、それを民間にも多く広めていければ、すごく良い市になると感じました。 ・公立・民間ともに国等からの補助金で運営されていたことについて、今日知りました。平成27年からの新しい制度に対して、先取りした他部門との対応が必要か…。 ・公立の必要性を明示して方向性を出したらいい(障害児対応を含み)。 ・知識不足あり。 ・公立ではなければならない理由が弱い。「公立はレベルが高い」前提はおかしい。障害児保育は別プログラム作成する。 ・公立シンボリック園…1園だけ残す。幼保一元化時が変革のチャンス。 ・記載されていることが当たり前のことが多い。Plan Do Check Actionが回っていないように見える。 ・近い将来を見通して、よいPlanを作成、実行してほしい。素早くロードマップを作成し実行してほしい。 ・あるべき姿(ベンチマークなどを実施)三島の現状をよく把握してほしい。 ・サービス対費用がよくわからない。どちらが良いのか？ <p>【仕分け人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来に向けての幼保のあり方の戦略をつくり上げる必要がある。 ・今後の保育行政のあり方を検討していくこと。コスト面の見直し、民間の育成！ ・同じサービスを受けられるのなら、公民の差はない。→民間移管・公設民営を具体的に検討すべき。 ・受け皿を増やし、経営効率を高めていくための具体的な方策を聖域なく検討すべき。 ・障害児の、特に療育について「公立(市立)6園で」ありきではなく、必要な対応から組み上げるべき。 ・今後の三島市が進むべき道を明らかにし、それに合わせた予算を考えるべきでは。(民間への移管を考慮して) ・子育て三法の施行に向け、公立・民間の保育所の役割・あり方を抜本的に見直すことが必要。公立ありきではなく、民間と機会均衡の中で、どのように民間の活力を活用できるか検討すべき。市民にはサービス水準、費用対効果を情報提供すべき。 ・公立、民間の違いが障害児保育であれば、全ての公立保育園ではなく、専門の園を作るべき。 					
市(現行どおり)	4	0	<p>【市民判定人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の施策で翻弄されて気の毒に思う。しかし、公と民でほとんど違いがないのなら、民の力を利用すべきだと思う。その場合も市の関与(特に障害児などに対して)を忘れないでほしい。 ・良好な保育環境は整備すべき。 ・仕分け人の方の厳しい意見がありましたが、社会福祉部頑張ってください。 ・我が子を民間保育園に預けたことがありました。営利目的で始めた事業所でした。保育内容もでたらめで、民間保育園は信用できません。子供は国の宝です。公立保育園には頑張ってもらいたいです。 					